

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【公開番号】特開 2004-34709 (P2004-34709A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 5 日 (2004.2.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-005
 【出願番号】特願 2003-271831 (P2003-271831)
 【国際特許分類】

B 4 1 N 1/14 (2006.01)
C 0 9 K 3/00 (2006.01)
G 0 3 F 7/00 (2006.01)
G 0 3 F 7/004 (2006.01)
G 0 3 F 7/033 (2006.01)

【F I】

B 4 1 N	1/14	
C 0 9 K	3/00	E
C 0 9 K	3/00	1 0 5
G 0 3 F	7/00	5 0 3
G 0 3 F	7/004	5 0 1
G 0 3 F	7/004	5 0 5
G 0 3 F	7/004	5 2 1
G 0 3 F	7/033	

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 5 月 23 日 (2006.5.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

材料を除去することなく画像を形成する感熱性組成物であって、熱に対する暴露工程後に現像処理を必要とせず、かつ

- a) 切替可能性ポリマー、および
- b) I R 吸収剤

を含有する、感熱性組成物において、さらに、

- c) トリアジン化合物、および
- d) ノボラック樹脂

を含有することを特徴とする感熱性組成物。

【請求項 2】

前記切替可能性ポリマーが親水性基を結合しており、かつ I R 線の作用により親油性になることを特徴とする請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記結合親水性基がカルボキシル基であることを特徴とする、請求項 2 記載の組成物。

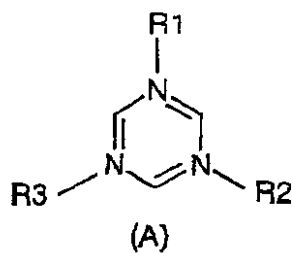
【請求項 4】

I R 吸収剤がシアニン染料であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のうちいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記トリアジン化合物が下記の構造式を有することを特徴とする請求項 1 ～ 4 のうちのいずれか 1 項に記載の組成物。

【化 2】



(式中、置換基 R₁、R₂、および R₃ のうち少なくとも 1 つが N R' R'' であり、その他が H または N R' R'' であり；置換基 R' および R'' のうち少なくとも 1 つが -CH₂-O-Alk_{1-4C} であり、その他の R' および R'' が H または -CH₂-O-Alk_{1-4C} であって互いに同じでも異なってもよい。)